

音楽アーティスト科 声優アーティストコース 受講科目一覧 2年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
実習	演技実習Ⅱ	68	2	2
講義	音声技法Ⅱ	68	2	4
演習	表現パフォーマンスⅡ	68	2	4
講義	アクター基礎Ⅱ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ（選択）	68	2	2
実習	歌唱/演奏実技Ⅱ（選択）	68	2	2
講義	表現Ⅱ（選択）	68	2	4
講義	アイソレーションⅡ（選択）	68	2	4
実習	パフォーマンス実技Ⅱ（選択）	68	2	2
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
（選択授業のうち3つ選択）合計		1024	26	44

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 全コース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
著作物の定義や著作権者の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。							
到達目標							
音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	NHKスペシャル「知は誰のものか」映像視聴及び解説 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造とJASRACとの契約
【前期】 11～13回目	JASRACの成り立ちと自由化への流れ JASRACの功罪 音楽教室から著作権使用料を徴収することの是非について 【作文提出】
【前期】 14～18回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施・前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
【後期】 19～21回目	CD制作に関する印税の仕組み レコード会社の収益について 原盤制作費とリケープラインについて
【後期】 22～25回目	インタラクティブ配信における印税の仕組み 動画投稿サイトに関する著作権について 放送・カラオケに関する著作権について
【後期】 26～28回目	演奏・レンタルに関する著作権について 音楽ビジネスの現状 【作文提出】 著作物の利用に関して 著作物の利用手続き、所有権と著作権の違いを理解する
【後期】 29～31回目	著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則に関しての理解を深める AIと著作権 ビデオ視聴
【後期】 32～36回目	AIと著作権 【作文提出】 テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施・後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と著作権ビジネスの構造について学びます。また、JASRACに関しても、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけ、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 後期では主に音楽ビジネスの根幹となる印税システムについての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につけるようにしてください。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	課題台本ゼミナールⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修		
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト/俳優アーティスト						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡の劇団で演出を担当。福岡という地方で産まれた舞台を、別都市で上演することにこだわり、土地の空気を感じながらリメイクし、ツアー公演を行う。演出経歴15年。現在に至る。日本演出者協会主催の演劇祭による韓国戯曲の演出や、海外公演での舞台創作・演出家としても活躍。舞台俳優として、また舞台演出としての活動経験を活かした講義内容となっている。						
授業概要							
①文章の読解力、分析、構成。 ②課題戯曲の読み解き。 ③舞台作品の創作。							
到達目標							
・作品を分析、構成を理解する力をつける。 ・俳優に必要なコミュニケーション力と柔軟性を獲得しする。(自分と他者、環境などを振り返り、言語化できるようになる) ・脚本、創作意図を理解、解釈し、演技で表現する。 ・一つの作品を創作し、卒業公演として上演する。							
授業計画・内容							
【前期】 1～3回目	・空間を意識した発声と柔軟、インプロ、エチュード(年間で継続的に実施) ・台詞を音として意識する。 ・卒業公演に向けて企画ディスカッション・戯曲決定□						
【前期】 4～7回目	・実生活に基づいた演技と再現性をエチュードを通して体感する。 ・卒業公演創作						
【前期】 8～10回目	・卒業公演創作						
【前期】 11～13回目	・卒業公演創作						
【前期】 14～17回目	・卒業公演創作 ■前期試験:卒業公演上演戯曲を読み、作品分析を発表、レポート提出。						
【後期】 18～20回目	・卒業公演創作						
【後期】 21～24回目	・卒業公演創作						
【後期】 25～27回目	・卒業公演創作						
【後期】 28～30回目	・卒業公演創作						
【後期】 31～34回目	・卒業公演創作 ■後期試験:卒業公演リハーサル完成度をみる。						
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /コミュニケーション/身体表現/言語化/完成度」の5項目の到達度を総合的に評価する。						
学生へのメッセージ	一つの作品を観客に発表するまでには、たくさんの人々がそれぞれ専門とする仕事を集結させます。表方はそのなかの一つの役割です。声優、舞台俳優、映画俳優といったカテゴリーに関わらず、演じることで表現する職業を目指すにあたり、実際に作品を創作し、本番を体験することで、自分がどんな俳優・声優になっていくのかを考えていきましょう。						
備考	この講座は必ず動きやすい服装で参加してください。ヒール不可。(履き替えられるものをご用意ください) 他、都度用意した脚本を使用。						

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	身体感情表現Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	演技実習Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト/俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	福岡の劇団で演出を担当。福岡という地方で生まれた舞台を、別都市で上演することにこだわり、土地の空気を感じながらリメイクし、ツアー公演を行う。演出経歴15年。現在に至る。日本演出者協会主催の演劇祭による韓国戯曲の演出や、海外公演での舞台創作・演出家としても活躍。舞台俳優として、また舞台演出としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①基礎の向上と、身体コントロール。 ②関係性を表現する演技プラン ③台詞を音として捉える、反応する演技を意識する。						
到達目標						
・基礎において1年次に到達できなかった点を分析し到達する。 ・呼吸と体幹のコントロール(スローモーションやタイガーウォーク等・年間で継続的に実施) ・空間を意識した発声(年間で継続的に実施) ・俳優に必要なコミュニケーション力と思考方法を獲得する。(自分と他者、環境などを振り返り、言語化できるようになる)						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・空間を意識した発声と柔軟、インプロ、エチュード(年間で継続的に実施) ・呼吸と体幹のコントロールするための訓練(スローモーションやタイガーウォーク・年間で継続的に実施) ・資料映像を使い、表現の違いを分析する。
【前期】 4～7回目	・名詞、形容詞、ト書きから戯曲の成り立ちを考える。
【前期】 8～10回目	・国内戯曲読み合わせ、戯曲読解。 ・卒業公演創作
【前期】 11～13回目	・卒業公演創作
【前期】 14～17回目	・卒業公演創作 ■前期試験:卒業公演上演戯曲を読み、作品分析を発表、レポート提出。
【後期】 18～20回目	・卒業公演創作
【後期】 21～24回目	・卒業公演創作
【後期】 25～27回目	・卒業公演創作
【後期】 28～30回目	・卒業公演創作
【後期】 31～34回目	・卒業公演創作 ■後期試験:俳優としての創作現場での取り組みで評価する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/コミュニケーション/身体表現/演技力/完成度」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	演じるという行為は、日々の生活の中で意識的・無意識的に行われています。しかしそれを再現し、自身の肉体や言葉を作品として起していく作業には、考える力とそれを他者に伝える言語化能力、コミュニケーションが必要です。この授業では、様々な表現力を獲得するための思考力を、創作の実践を通して学びましょう。
備考	この講座は必ず動きやすい服装で参加してください。ヒール不可。(履き替えられるものをご用意ください)

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音声技法Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	音声技法Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト/俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」TVCMナレーション「ヨドバシカメラ」他、外画吹き替え、ネットラジオ、アニメキャラクターソング、舞台出演、テレビ番組出演等、活動は多岐に渡る。芸歴26年。講師歴10年。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①プロになるための発声・発音・滑舌、共通語のアクセント等を徹底して身に付け、方言を出さないように共通語のアクセントを使いこなせる様にする。 ②文章の読み取りが正しくできるようにする。 ③言葉・感情の表現に興味を持つ。						
到達目標						
・丁寧な発声・発音の基礎を身に付ける ・基礎的な体力を身につける。 ・アクセント感覚を養う。 ・自分の良さを見つけて次のステップで戦える体力をつける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・個人レベルチェック・発声、発音基礎訓練・身体づくり・個人課題克服練習
【前期】 4～7回目	・発声、発音基礎訓練・身体づくり・個人課題克服練習
【前期】 8～10回目	・発声、発音基礎訓練・身体づくり・個人課題克服練習
【前期】 11～13回目	・オーディション対策・発声、発音基礎訓練・身体づくり継続
【前期】 14～17回目	・発声、発音基礎訓練 ■前期試験:実技、筆記(基礎確認)
【後期】 18～20回目	・発声、発音基礎訓練・身体づくり・個人課題克服練習
【後期】 21～24回目	・個人レベルチェック・発声、発音基礎訓練・身体づくり・個人課題克服練習
【後期】 25～27回目	・個人レベルチェック・発声、発音基礎訓練・身体づくり・個人課題克服練習
【後期】 28～30回目	・個人レベルチェック・発声、発音基礎訓練・身体づくり・個人課題克服練習
【後期】 31～34回目	・発声、発音個人課題振り返り・個人レベルUPに取り組む ■後期試験:実技、筆記(基礎確認)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 言葉の基礎力 / 課題への取り組み/応用表現力/研究心」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声、発音の基礎の徹底を行います。体をしっかりと作り、演技に幅を持たせられるよう声を鍛えていきます。週に一度のレッスンでは身につきません。普段から取り組みましょう。
備考	・「日本語の発声レッスン」 ・「アクセント辞典」を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アフレコⅡ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	表現パフォーマンスⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」TVCMナレーション「ヨドバシカメラ」他、外画吹き替え、ネットラジオ、アニメキャラクターソング、舞台出演、テレビ番組出演等、活動は多岐に渡る。芸歴26年。講師歴10年。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①自身の声をアピールできるヴォイスサンプルを作成するために研究・実践する。 ②自分の演技を堂々とやり切れる自信と経験をつけるための授業を中心に行う。						
到達目標						
・芝居力・感性・イメージ力・対応力・瞬発力を、様々な作品・戯曲に触れることで考え、自己研鑽する。 ・1年次の基礎を踏まえ、さらなる応用力をつけていくことによって演じることの楽しさを知る。 ・言葉(セリフ)の持つ意味を常に考えられるようになる。 ・即戦力としてプロの世界でやれるという根拠のある自信を持つ。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・ヴォイスサンプル(サンプル素材選定)・ヴォイスサンプル①収録
【前期】 4～7回目	・台本読解①(絵本、コミックを使用し、台詞のやり取り、ストーリーの捉え方を学ぶ)
【前期】 8～10回目	・外画アテレコ①(洋画)収録
【前期】 11～13回目	・台本読解②オーディション原稿 ・発表会 ・ヴォイスサンプル素材選定、練習
【前期】 14～17回目	・ヴォイスサンプル振り返り ■前期試験:実技(ヴォイスサンプル②収録)
【後期】 18～20回目	・オーディション対策 ・アニメアフレコ(アニメ)①収録
【後期】 21～24回目	・アニメアフレコ(アニメ)② ・オーディション対策
【後期】 25～27回目	・発表会 ・アニメアフレコ(収録)
【後期】 28～30回目	・ヴォイスサンプル(準備)
【後期】 31～34回目	・最スタジオワーク(アフレコ、アテレコ等) ■後期試験:実技(ヴォイスサンプル③収録)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 /応用表現力/責任感/現場状況判断 /プロとしてやっていく気力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自身が持つセリフのイメージ力をどこまで広げられるか、レッスンの時だけでなく常に考えチャレンジしていくことが上達していく一歩です。普段の生活のすべてが役者のための体験の場だと認識して取り組んでください。謙虚に実直に型にはまらず挑戦していき、自信に変えていきましょう。
備考	都度用意した台本を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アクター基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	アクター基礎Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト/俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	バラエティー番組のMCやラジオパーソナリティー、様々なイベントへの出演等、お笑い芸人として15年間活動。現在は、イベントMCを中心に活動しながらラジオ番組にも出演している。声優や俳優をゲストに招いたイベントにも多数出演しており、これらの経験を活かした講義を行う。					
授業概要						
トークの技術を磨きながら、役者としてトークイベント等に出演した際の表現方法の応用を学ぶ。 また、自己PRや面接での表現方法などを体系立てて学習する。都度録画し、プレイバックしながら実践形式で学ぶ。						
到達目標						
・外部に向けた話し方、自己表現の仕方を身につける。 ・トークイベントやトーク番組に出た際の自身の表現方法を実践形式で模索する。 ・フリートークだけでなく、自己PRや面接での質疑応答など幅広い意味での「人対人」の対応力を高める。 ・表情や、声のトーン等、自身の理想の表現を確立する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	自己表現トレーニング① 客観的な視点で自身の強みを探し、分かりやすく伝える方法を学ぶ
【前期】 4～7回目	自己表現トレーニング② 自己表現を行動・認知・感情の面から理解する
【前期】 8～10回目	自己表現トレーニング③ トークイベント等を想定した実践形式のテーマトーク
【前期】 11～13回目	質疑応答トレーニング① 相手の質問意図をくみ取り答えることについて体系立って学ぶ
【前期】 14～17回目	質疑応答&テーマトークの振り返り ■前期試験:質疑応答&テーマトーク/撮影後フィードバック
【後期】 18～20回目	質疑応答トレーニング② 応答の速さ、質を上げる反復トレーニングを行う
【後期】 21～24回目	オーディション対策・模擬面接/撮影後フィードバック
【後期】 25～27回目	オーディション対策・模擬面接/撮影後フィードバック
【後期】 28～30回目	トーク企画考案
【後期】 31～34回目	トーク企画考案 ■後期試験:トーク企画実践/撮影後フィードバック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「トーク技術/表現力/構成力/対応力/創造力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	話し方やテンポ、声量など自身の理想により近づけるためには、現時点の自身の表現力を認識した上で様々な事に取り組む必要があります。撮影した映像をしっかりと確認し改善点を模索しながら理想の表現を実現させましょう。
備考	都度用意した原稿を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイストレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト/俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。 歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。 黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。 様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
歌唱の基礎、呼吸や姿勢、発声の際に使う体の使い方を学び、ピッチ、音価の正確性を高める。 また、手拍子や体を使いリズム感をしっかりと養い、歌唱の際に表現に集中できるようにする。						
到達目標						
・呼吸法の基礎を習得。 ・発声の際の姿勢を習得。 ・骨盤底筋、インナーマッスルを強化し、発声の安定性を獲得する。 ・力を入れずに発声できるようになり、自然な姿勢でリズムに乗れるようになる。 ・歌の中で使える滑舌を習得し、言葉が伝わる歌唱ができるようになる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	各々の発声の状態、問題を確認。トレーニングメニュー説明&実践。ロングトーンやスケールを使い基本的な発声練習。
【前期】 4～7回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。表情筋トレーニング。チェストボイスを中心に、トレーニング。
【前期】 8～10回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。ヘッドボイスを中心にトレーニング。
【前期】 11～13回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。声区融合トレーニング
【前期】 14～17回目	前期テスト対策。 ■前期試験:発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
【後期】 18～20回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。 メトロノームを使い任意の曲をアカペラで歌唱。調声、リズムトレーニング。
【後期】 21～24回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。表情筋トレーニング。
【後期】 25～27回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 28～30回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 31～34回目	通年のまとめ。 ■後期試験:発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声に関する用語、仕組み/発声/リズム」の3項目の到達度、理解度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声は筋トレです。フィジカルをしっかりと鍛え、自分の内なる声を引き出し、ステージで何の不自由もなく歌えるようになりましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト/俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	・back number、中村 正人(DREAMS COME TRUE)等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・自身もシンガーソングライターとして九州各地でライブ活動を行う。					
授業概要						
様々なジャンルの楽曲を課題曲とし、チェストボイスやファルセットで歌えるようにする。また、ステージパフォーマンスも同様に学ぶ。						
到達目標						
・ワールドミュージックでリズム感覚を身につける。 ・ブラックミュージックで歌唱スキルの向上。 ・アニソンやJ-popで発音や伝えるスキルの向上。 ・ミュージカルソングで表現力を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ヴォイストレーニング・音楽理論の復習
【前期】 4～7回目	課題曲① 発声・リズム・呼吸・音域チェック
【前期】 8～10回目	課題曲② リズムの解釈・リズム取りの応用
【前期】 11～13回目	課題曲③ さらなる音域の拡大・豊かな歌声を目指す発声練習
【前期】 14～17回目	・課題曲の歌唱 ■前期試験:前期内容の理解カテスト及び実技試験
【後期】 18～20回目	課題曲⑤ ・課題曲による発声、発音、呼吸、リズム強化①
【後期】 21～24回目	課題曲⑥ ・課題曲による発声、発音、呼吸、リズム強化②
【後期】 25～27回目	課題曲⑦ ・詩の持つ力を読み解く
【後期】 28～30回目	・自由課題曲
【後期】 31～34回目	課題曲⑨ ■後期試験:後記内容の理解カテスト及び実技試験
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「音程/リズム/ 発音/表現力/パフォーマンス力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	歌うことを職業にしていくためには、技術は絶対に必要になってきます。この技術を取得し続けるためには、自分で課題を見つけ、自分で課題を解決していく力を身につける必要があります。その一連の流れが一人で行えるようになるための練習をこの授業の中で学んでいきます。まずは気づくこと。知ること。そこから始めていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ナレーション応用		授業形態 / 必選	実習 選択	
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	■ 音楽アーティスト科 声優アーティスト/俳優アーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目				

授業概要
①2年次では様々なナレーションに触れ、現場によって異なる表現方法を理解していきます。 ②メディアによって違う表現方法を訓練し、現場での対応力をつけていきます。 ③ナレーション原稿が何を誰にどのように伝えたいのか、しっかりと理解する力をさらにつけていきます。
到達目標
・様々な媒体に合わせてナレーションを読むことができる。 ・尺に対応できる力を身につける。 ・自分の得意とする読み方やジャンルを理解し、プロとして仕事としてナレーションを読めるようになる。 ・原稿を読み解く力を身につける。 ・自身でナレーション原稿を作成できる。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・オーディション対策
【前期】 4～7回目	・原稿作成(構成、狙い) ・言語化能力
【前期】 8～10回目	・喋り、語りの強化
【前期】 11～13回目	・原稿理解力の強化
【前期】 14～17回目	初見の対応力・アクセント・声たて・秒数感覚など総合的にチェック。 ■前期試験:実技
【後期】 18～20回目	・映像、音楽に合わせた読み方の強化
【後期】 21～24回目	・自己解釈と需要と供給
【後期】 25～27回目	・強みの強化、弱点の克服
【後期】 28～30回目	・自由課題
【後期】 31～34回目	・自由課題 ■後期試験:実技 内容を的確に伝達・表現できているかチェック。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/滑舌等基礎/表現力/秒数感覚/伝達力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	2年次では、ナレーションの内容やイメージを的確に伝えられるような表現技法を学んでいきます。様々な原稿を通して、自分なりの表現を身に付け、代わりのいないナレーターを目指します。オーディション対策も行います。
備考	都度準備した教材を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	言語感情表現Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	表現Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト/俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	1998年より福岡の劇団において舞台俳優・ミュージカル俳優として活動。多数の公演に主演女優として出演しており、自主公演も行っている。現在も福岡を中心に県外公演にも積極的に参加している一方、イベントMC・ナレーターとしても活躍中。公演においてダンスの振り付けも行っている。舞台俳優・ミュージカル俳優としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①言語による表現と体内感情のすり合わせ行う ②他者との掛け合いによって産まれてくる感情を1人でも成立させるトレーニング ③表現に必要な身体的、技術的基礎能力を鍛える						
到達目標						
・戯曲、ナレーション原稿・絵本など様々な媒体に対応出来る技術を身につける。 ・自分のイメージを声、体で表現できる自己認識を身に付ける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ウォーミングアップ、自身の体の観察
【前期】 4～7回目	記憶の体現のワーク
【前期】 8～10回目	リピテーションワーク
【前期】 11～13回目	リピテーションを使って戯曲を読む
【前期】 14～17回目	発表～フィードバック 後期に向けての課題チェック ■前期試験:課題原稿の朗読
【後期】 18～20回目	ダイアローグ
【後期】 21～24回目	児童文学作品読み
【後期】 25～27回目	長文ナレーション読み
【後期】 28～30回目	課題原稿を身体込みで表現してみる
【後期】 31～34回目	振り返り、まとめ ■後期試験:課題原稿を声のみで表現、のちフィードバック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/ 原稿読解力/表現力/ 技術/ 対応力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	どんなに自分の中で納得のいく表現をしても、誰かに届かなければそれは表現者とは言えないと思います。言葉を自分中だけでなく相手へ届ける事を大切に出来る表現者を目指しましょう。表現するための道具は自分自身の体です。継続的な基礎トレーニングで柔軟な身体を作っていきましょう。
備考	都度用意した原稿を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス応用		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	アイソレーションⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト/俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐					
担当講師 実務経歴	芸能事務所でアイドルや俳優の育成、ダンススタジオや音楽専門学校でダンス講師をしながら、ポルトガルでのTV番組メインダンサーでの出演や、アパレルブランドの広告 企業PV出演、着物ブランドとのコラボなど、ダンサーとしてアーティスト活動を行う。					
授業概要						
・ストレッチ・筋トレ 身体作り ・基礎トレーニング(アイソレーション / リズム / プリエ / ターン) ・振り付け・踊ってみた・コレオグラフ						
到達目標						
・ダンスのジャンルや基礎を理解し動ける身体のベースを作る。 ・様々なジャンルの楽曲に合わせたコンビネーション・振り付けを覚え踊れる。 ・動けるだけでなく、身体を使って表現する感性や個性を養う。 ・流行りのダンスをコピーしダンスのトレンドを理解する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	姿勢/アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/踊ってみた(可愛い系)
【前期】 4～7回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/振り付け(ストリート系)
【前期】 8～10回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/踊ってみた(カッコイイ系)
【前期】 11～13回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/振り付け(JAZZ系)
【前期】 14～17回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/振り付け(発表会) ■前期試験:アイソレーションや基礎ステップの2分ほどの振り付けを覚え発表する
【後期】 18～20回目	ベーシック強化アイソレーション編/踊ってみた(可愛い系選択)
【後期】 21～24回目	ベーシック強化プリエ、ターン編/振り付け(JAZZ系)
【後期】 25～27回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/踊ってみた(カッコイイ系選択)
【後期】 28～30回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。
【後期】 31～34回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。(発表会) ■後期試験:応用ステップを含んだ3分ほどの振り付けを覚え、自己表現を交え発表する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「基礎体力 / プリエ・ターン / アイソレーション / 振り付け / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスの基礎を学ぶとともに、身体能力の向上、身体で表現する楽しさを学んでいきます。 それぞれの知識、技術、経験はどれもステージングに活かされたいと思います。 表現者として実りのある授業をみなさんと創り上げていきましょう。
備考	4回に1回程度、衣装を合わせて撮影しコンスタントに本番を経験していきます。 機会があればステージでのクラスも検討しています。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイスアクター実習		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	パフォーマンス実技Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、映画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①ゲームボイス収録等、一人での収録を想定し、仮想の相手をイメージした演技を学んでいきます。 ②媒体によって違う表現方法を訓練し、現場での対応力をつけていきます。 ③決められた尺(時間)に台詞をおさめられるように訓練する。						
到達目標						
・単独の収録でも説得力のある演技ができるようになる。 ・ディレクションによる対応力を身につける。 ・声のバリエーションを増やす。 ・得意不得意を理解する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・キャラクター、役作り ・尺(時間)
【前期】 4～7回目	・ひとこと台詞 ・テンション、熱量
【前期】 8～10回目	・日常会話 ・距離感、台詞の方向、目線
【前期】 11～13回目	・難解台詞 ・テンポ、リズム
【前期】 14～17回目	・テストレビュー ■前期試験:実技(課題台本)
【後期】 18～20回目	・身体イメージの強化 ・動きのある声、息、ゆらぎ
【後期】 21～24回目	・呼吸の演技
【後期】 25～27回目	・一人芝居
【後期】 28～30回目	・一人芝居 ・テストレビュー
【後期】 31～34回目	・1年間の振り返り ■後期試験:実技(課題台本)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/滑舌等基礎/表現力/瞬発力/伝達力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一人で収録するのは楽と思う人もいるかもしれませんが、相手の台詞をイメージするのはもちろんの事、ひとりで何役もやる場合もありますし、尺(時間)を気にしたりと、とても集中力がいらいます。様々な題材を通して、一人で収録する際に必要な技術を身につけていきましょう！
備考	都度準備した教材を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワーク－ライブ実習		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト／俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡の音楽専門学校を卒業し、ゴスペルフェスティバルや博多どんたくをはじめ多数のイベントに出演。Chirolyn(hide withspread beaver)のソロツアー福岡公演にてオープニングアクトとして出演。「ドゲンジャーズ」のリアルイベントにてコーラスを担当。Imgramox Musicからカバー楽曲「絶対敵対メチャキライヤー」でメジャーデビューし、ネットでのライブ配信やリアルでのライブ活動も行う。					
授業概要						
課題曲に内包されているテクニック、リズム、ハーモニーなどの類例を自らの経験値として取り込みながらバンドアンサンブルについて理解を深める。3週で楽曲が変更。ライブイベントへ向けてのリハーサルも兼ね、パフォーマンス力、ステージング力の向上をもはかっていく。						
到達目標						
・広い声域を使い、ヴォーカリストとしてレベルアップを目指す。						
・自分の表現の幅を広げて、アンサンブル基礎Ⅱに基づき、ライブステージを楽しむ。						
・1年次より細かいリズムや音程もしっかりとて歌う。						
・曲を理解しエンターテインメントを習得する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【前期】 4～7回目	2曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【前期】 8～10回目	3曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。 過去3曲の中からLIVE WEEKに向けてチーム決定。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEKに向けてパフォーマンスやクオリティーを上げるためのリハーサル週間
【前期】 14～17回目	バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。 ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【後期】 21～24回目	2曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【後期】 25～27回目	3曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。 過去3曲の中からLIVE WEEKに向けてチーム決定。
【後期】 28～30回目	バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【後期】 31～34回目	LIVE WEEKに向けてパフォーマンスやクオリティーを上げるためのリハーサル週間 ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	エンターテイナーなヴォーカリストを目指して技術を高めていく授業です。ステージで魅力を出すためにがんばりましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワーク－ライブ実習		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト／俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡の音楽専門学校を卒業し、ゴスペルフェスティバルや博多どんたくをはじめ多数のイベントに出演。Chirolyn(hide withspread beaver)のソロツアー福岡公演にてオープニングアクトとして出演。「ドゲンジャーズ」のリアルイベントにてコーラスを担当。Imgramox Musicからカバー楽曲「絶対敵対メチャキライヤー」でメジャーデビューし、ネットでのライブ配信やリアルでのライブ活動も行う。					
授業概要						
課題曲に内包されているテクニック、リズム、ハーモニーなどの類例を自らの経験値として取り込みながらバンドアンサンブルについて理解を深める。3週で楽曲が変更。ライブイベントへ向けてのリハーサルも兼ね、パフォーマンス力、ステージング力の向上をもはかっていく。 ※作品制作基礎Ⅱの2コマ目として実施						
到達目標						
・広い声域を使い、ヴォーカリストとしてレベルアップを目指す。						
・自分の表現の幅を広げて、アンサンブル基礎Ⅱに基づき、ライブステージを楽しむ。						
・1年次より細かいリズムや音程もしっかりとって歌う。						
・曲を理解しエンターテインメントを習得する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【前期】 4～7回目	2曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【前期】 8～10回目	3曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。 過去3曲の中からLIVE WEEKに向けてチーム決定。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEKに向けてパフォーマンスやクオリティーを上げるためのリハーサル週間
【前期】 14～17回目	バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。 ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【後期】 21～24回目	2曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【後期】 25～27回目	3曲目:仕込み(歌詞の理解、メインメロディー、曲の構成、リズムパターン、コーラスパート) バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。 過去3曲の中からLIVE WEEKに向けてチーム決定。
【後期】 28～30回目	バンドアンサンブルにおける反省点の指導を受け、次回のアンサンブルに向けて各自練習してくる。
【後期】 31～34回目	LIVE WEEKに向けてパフォーマンスやクオリティーを上げるためのリハーサル週間 ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	エンターテイナーなヴォーカリストを目指して技術を高めていく授業です。ステージで魅力を出すためにがんばりましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワーク－ミュージカル		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト／俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	1998年より福岡の劇団において舞台俳優・ミュージカル俳優として活動。多数の公演に主演女優として出演しており、自主公演も行っている。現在も福岡を中心に県外公演にも積極的に参加している一方、イベントMC・ナレーターとしても活躍中。公演においてダンスの振り付けも行っている。舞台俳優・ミュージカル俳優としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①作品製作を従軸とした授業を行う事で、役の心情や行動原理を理解すると共に、観客の目線を意識した演技を習得していきます。また、実際にテクニカルチームと制作する事でよりクオリティの高い作品作りを目指す。 ②年間2本の舞台公演を実際の劇場で行う事により舞台制作における、役者としての立ち居振る舞いやテクニカルスタッフの動きなど学び、様々な方面から作品制作との関わり方を学ぶ。						
到達目標						
・役作りはもちろんのこと、作品内での自分の役回りや、ポジション、立ち位置など総合的に作品に関わる事の出来る役者を目指す。 ・歌唱や身体表現など、舞台上で魅せる為の技術を身に付ける ・テクニカルの方々と共に制作する事により、舞台上での裏表での立ち振る舞い方を考える。 ・自身の役が作品上どのような立ち位置で、ダンス、殺陣、歌唱が作品内でどのような演出効果を産むのかを考えられる役者となる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎練歌唱レッスン(基礎練は全期通して行う)
【前期】 4～7回目	・ミュージカルの発声方法 ・作品制作①
【前期】 8～10回目	・ミュージカルの所作①基本の立ち方、連続した動き ・作品制作②
【前期】 11～13回目	授業内舞台発表① フィードバック
【前期】 14～17回目	・後期制作準備 ■前期試験:課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
【後期】 18～20回目	・ミュージカルの所作② ・ミュージカル制作①
【後期】 21～24回目	・衣装着付け ・ミュージカル制作②
【後期】 25～27回目	・ミュージカルの所作③コメディ・リリーフ ・ミュージカル制作③
【後期】 28～30回目	授業内舞台発表会② フィードバック
【後期】 31～34回目	・後期発表フィードバック ■後期試験:課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/読解力/表現力/歌唱力/空間把握」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今、各事務所が自社タレントを舞台に出演させたがっています。また、ミュージカル作品は熱良人気を保っています。だからこそ全体的なレベルも高くなっていますし、役者に求める実力も高くなっています。需要が高い分野において自分がどのようにアプローチしていくのか、年2回の舞台発表をしていきつつ、この1年間で見つけていきましょう。
備考	都度用意した原稿・戯曲・CDを使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワーク－ミュージカル		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト／俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	1998年より福岡の劇団において舞台俳優・ミュージカル俳優として活動。多数の公演に主演女優として出演しており、自主公演も行っている。現在も福岡を中心に県外公演にも積極的に参加している一方、イベントMC・ナレーターとしても活躍中。公演においてダンスの振り付けも行っている。舞台俳優・ミュージカル俳優としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①作品製作を従軸とした授業を行う事で、役の心情や行動原理を理解すると共に、観客の目線を意識した演技を習得していきます。また、実際にテクニカルチームと制作する事でよりクオリティの高い作品作りを目指す。 ②年間2本の舞台公演を実際の劇場で行う事により舞台制作における、役者としての立ち居振る舞いやテクニカルスタッフの動きなど学び、様々な方面から作品制作との関わり方を学ぶ。 ※作品制作基礎Ⅱの2コマ目として実施。						
到達目標						
・役作りはもちろんのこと、作品内での自分の役回りや、ポジション、立ち位置など総合的に作品に関わる事の出来る役者を目指す。 ・歌唱や身体表現など、舞台上で魅せる為の技術を身に付ける ・テクニカルの方々と共に制作する事により、舞台上での裏表での立ち振る舞い方を考える。 ・自身の役が作品上どのような立ち位置で、ダンス、殺陣、歌唱が作品内でどのような演出効果を産むのかを考えられる役者となる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎練歌唱レッスン(基礎練は全期通して行う)
【前期】 4～7回目	・ミュージカルの発声方法 ・作品制作①
【前期】 8～10回目	・ミュージカルの所作①基本の立ち方、連続した動き ・作品制作②
【前期】 11～13回目	授業内舞台発表① フィードバック
【前期】 14～17回目	・後期制作準備 ■前期試験：課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
【後期】 18～20回目	・ミュージカルの所作② ・ミュージカル制作①
【後期】 21～24回目	・衣装着付け ・ミュージカル制作②
【後期】 25～27回目	・ミュージカルの所作③コメディ・リリーフ ・ミュージカル制作③
【後期】 28～30回目	授業内舞台発表会② フィードバック
【後期】 31～34回目	・後期発表フィードバック ■後期試験：課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/読解力/表現力/歌唱力/空間把握」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今、各事務所が自社タレントを舞台に出演させたがっています。また、ミュージカル作品は熱良い人気を保っています。だからこそ全体的なレベルも高くなっていますし、役者に求める実力も高くなっています。需要が高い分野において自分がどのようにアプローチしていくのか、年2回の舞台発表をしていきつつ、この1年間で見つけていきましょう。
備考	都度用意した原稿・戯曲・CDを使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワーク－配信知識		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト／俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	俳優歴8年。舞台、CM、ドラマ等多数出演。また所属劇団の広報用映像の制作、編集を自身で行うと共に、ゲーム会社のCM編集、YouTuberの動画編集の依頼を受けるなど映像クリエイターとしても活動。その経験を活かし実践指導を行う。					
授業概要						
インターネット上で活動するための演者としてのトークスキル、自己プロデューススキルなどを学ぶ。						
到達目標						
・動画編集に必要なPC技術を学ぶ。 ・動きを絵コンテから考えることができる。 ・曲に沿った演出表現が出来る。 ・必要な素材の選定判断を身に付ける。 ・画面の中で活動するとしても、求められるのは結局、人間力です。愛される人、応援される人を一緒に目指しましょう。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	動画配信者、インフルエンサーだけでなく、表現者に求められる考え方
【前期】 4～7回目	演者としてのトークスキルを様々なワークやゲームを通して楽しく身につける 「SNS用動画制作①」自身の宣伝用動画としてショート作品を制作。
【前期】 8～10回目	演者としてのトークスキルを様々なワークやゲームを通して楽しく身につける 「SNS用動画制作②」効果的なエフェクトをつける。
【前期】 11～13回目	SNSマーケティングの入門的なこと、自分自身がコンテンツを作るものとして必要な考え方
【前期】 14～17回目	前期の復習・確認 ■前期試験：バラエティゲームなどをしながら、演者としてのトークスキル、コミュニケーション能力、求められる考え方を見る
【後期】 18～20回目	自分がV-Tuberとして活動することを想定し、キャラクターのコンセプト案を作成
【後期】 21～24回目	自分がV-Tuberとして活動することを想定し、企画を立案
【後期】 25～27回目	演者としてのトークスキルを様々なワークやゲームを通して楽しく身につける 「Illustrator 基本操作」図形・柄・複製 等。
【後期】 28～30回目	演者としてのトークスキルを様々なワークやゲームを通して楽しく身につける 「Illustrator 基本操作」図形・柄・複製 等。
【後期】 31～34回目	1年間トータル復習・確認 ■後期試験：バラエティゲームなどをしながら、演者としてのトークスキル、コミュニケーション能力、求められる考え方を見る
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「自分をアピールする能力/聞き役としての能力/長く活動していけるような考え方」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	画面の中で活動するとしても、求められるのは結局、人間力です。愛される人、応援される人を一緒に目指しましょう。
備考	100円ショップの物など安いもので良いので、有線イヤホンを準備してください。授業中の動画編集作業で使用します。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワーク - 配信知識		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 声優アーティスト／俳優アーティスト					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	俳優歴8年。舞台、CM、ドラマ等多数出演。また所属劇団の広報用映像の制作、編集を自身で行うと共に、ゲーム会社のCM編集、YouTuberの動画編集の依頼を受けるなど映像クリエイターとしても活動。その経験を活かし実践指導を行う。					
授業概要						
インターネット上で活動するための撮影、動画編集(Premiere Pro)などを学ぶ。						
到達目標						
動画配信に必要な知識と技術を学ぶ。						
・各種機材及び映像作成時に気を付けるべきポイントを学ぶ。						
・動画作成ソフトでの編集技術を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ソフトウェアPremiere Proの基本操作 動画素材の基本編集操作を学ぶ
【前期】 4～7回目	ソフトウェアOBSの基本操作 配信環境の基本操作技術を学ぶ
【前期】 8～10回目	ソフトウェアPremiere Proの応用操作 動画素材の応用編集操作を学び、動画を作り上げていく
【前期】 11～13回目	ソフトウェアOBSの応用操作 配信環境の応用操作技術を学び、配信のシミュレーションを行う
【前期】 14～17回目	前期の復習・確認 ■前期試験:簡単な動画コンテンツを1つ作成する
【後期】 18～20回目	バーチャルモデルの作成
【後期】 21～24回目	バーチャルモデルを使用したコンテンツの作成
【後期】 25～27回目	自分のアイデアを元に動画コンテンツの企画を立案
【後期】 28～30回目	自分で企画したものを撮影
【後期】 31～34回目	1年間トータル復習・確認 ■後期試験:自分の強みが活かされる動画コンテンツを1つ完成させる
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「演者としてのコミュニケーション能力/基礎的な動画編集能力/自己プロデュース能力/企画から完成品納品までの自己管理能力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分一人のアイデアや頑張りで大きなチャンス掴める世界です。一緒に頑張りましょう！
備考	100円ショップの物など安いもので良いので、有線イヤホンを準備してください。授業中の動画編集作業で使用します。